

2020年度 12月実施

		チェック項目	はい	どちらでもいい ない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育との交流により二つの部屋を有効利用している、コロナ対策で館内の他事業所を借りることもある ・窮屈の思ったことはない、学童の部屋が騒がしくなっても放デイ支援室がある事でクールダウンすることができている
	②	職員配置数は適切であるか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置を適正に守っている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7		1	<ul style="list-style-type: none"> ・使用しにくいらせん階段 ・階段には手すりを完備している ・車椅子でも入館できる1階の玄関及びエレベーター等バリアフリー化している、必要があればエレベーターの使用も可能 ・車椅子で使用できる多目的トイレが備わっている
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員が懸案事項を提示し、パートを含む職員の意見を聞き実行している、実行ごはミーティングにて振り返りをして次につないでいる ・月一回のミーティング ・問題点は職員間で振り返りができている
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングにて確認し保護者の意向を把握し業務改善につなげている、また家庭支援についてもみんなで考えている ・毎年、アンケート結果を職員間で回覧してリアルな声を聞くことができている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・制度に基づき、毎年年度末にはホームページにて公表をしている、在籍家庭には書面でも配布している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・無記名…1 ・第三者評価を受ける予定はない、必要があれば取り組む気持ちはある

業務改善	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナウイルス感染症の感染予防の為に研修が中止やオンライン開催となっていて参加が困難になっている ・感染症予防の研修には係が参加した ・年度末までには全体でオンライン研修を受講してみたいと思っている ・例年であれば常勤もパート職員も様々な研修に行き、内容を共有することでチームの力の底上げになっている ・個々の興味や課題に合った研修へ参加できている ・職員、パート職員共に適宜参加している、内容は報告書を作成し回覧してミーティングで報告している、また内容によっては館内で勉強会を開く場合もある
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・多くの目で確認しつつ適切な最上のものを提供している ・利用児個々の“ストロングポイント”を元にして個別支援計画を作成している ・職員全員で取り組む仕組みが確立している ・“ストロングポイント”をみんなで出し合うことがアセスメントになり、その子が持っている強みに着目した支援計画作成に努めている ・年に2回の個別支援計画作成により変わっていくニーズにも対応、職員間で情報を共有し、共通の支援目標がある
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントについて、本人の遊びの様子や友だちとの関り、手伝いをする様子、学校からの情報等々、様々な視点から多角的に個をとらえるように工夫している
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員で立案することが多いが、パート職員にも意見をもらうことがある ・大きなイベントは職員全員で参画している、その他、各係、経験者がチームにて「おやつ係」「ミニ講座」「安全トーク」など生活が豊かになる活動をしている

適切な支援の提供

⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ等の野外体験を1年を通して行っている ・夏休み期間にはミニサークルを行い「料理」「工作」「手芸」「ダンス」などの活動プログラムを計画している ・日常的に地域の公園に散歩に出かけている ・季節ごとの行事を大切にしている ・室内にとどまらず積極的に外に出ている ・多彩な外出プログラム及び行事設定があり工夫されている ・子どもの意見や職員の得意を取り入れて計画を立てている
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・多彩な外出プログラム及び行事を行っている ・平日と休日を分けてはいないが、その時々での子どもの様子や課題は職員間で共有し、支援に活かすようにしている ・子どもたちも納得して様々な活動を受け入れていると感じる
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・隣接している学童保育の生活に沿って集団行動しているが、見通しを持たせるために個別で分かりやすく説明する等の対応をしている ・個別の静かな環境が必要な時には適切なケアを行い安心して過ごせるような配慮をしている ・個別支援が必要な場合もあるが、集団の中で育ちあうことの意義を理解して職員がサポートしている ・バランスよく組み合わせた活動計画を立てている ・子どもの状況、得意や課題を考慮し、個別と集団のバランスを見て支援計画を立てている
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行っている・その日の予定表にスケジュールや詳細が書かれているので確認してから支援に入る、また、個々の前日までの日誌を読み、行動や配慮事項を共有している ・その日のスケジュールが掲示され各職員が共有し、不明点はその場で確認する ・今日の予定や役割分担を決め、注意事項も共有している ・“一日メモ”を通して、活動内容や役割分担を共有している、疑問点等があればすぐに確認できる体制がある

適切な支援の提供

①⑥	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	5	1	1	<p>無記名…1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要があればするようにしている ・前日の日誌を確認し、問題点は常に共有しあっている ・特に目立った行動や大きな喧嘩があった時などは、居合わせた職員で振り返りを行っている ・シフト制なので集まっての振り返りは行っていないが、業務日誌、または、常勤を介して共有している
①⑦	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・業務日誌を書いている ・常勤だけではなく、パート職員も事務時間の中で記録を取り、一人ひとりのその日の様子について書き記している ・業務終了15分程度で日誌に記録を取っている、内容が支援の検証、改善につながるものは月一回のミーティングで取り上げている ・各職員が日誌を記入し一日の様子がわかるようにしている、また、前日の日誌を読み返して共有することもしている ・全員が記録を書くようにしている、その中から“ヒヤリハット、ニコリハット、インクルーシブ”な関りを取り上げて、より深めている
①⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画に見直しの必要性を判断しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・年に二回モニタリングを行い、支援計画の見直しをしている ・半年に一度、モニタリングを行っている、保護者と本人とも面談を行う
①⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・創作活動、地域交流、PDCAサイクル、学童保育との交流、様々なプログラムの展開、職員の知識・技術の習得意欲の喚起、非常災害時の訓練、犯罪や感染症に対する支援等々の活動を組み合わせた活動を行っている ・基本活動すべてを支援の中に取り入れている
①⑩	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議にはサビ児管が参加し、相談支援員や家庭と話し合いを持ちよりよいサービス提供を目指している

関係機関や保護者との連携

⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・学校と良好な関係を築いている、イベント(ハロウィン)にも協力している ・各小学校から年間予定をもらっている ・宿題の内容や下校時間の確認等、直接学校に連絡を取る時もある ・今年度は中止だが授業参観や運動会などの行事にも参加している ・保護者からの申し出により学校の個人面談に同席をすることもある
㉑	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は対象者がいない、受け入れることとなれば、整えていく姿勢あり ・わからない
㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・利用前に在籍している施設には必ず訪問をさせてもらい、様子や好きな事、物、苦手なこと等を教えてもらい、事業所内で共有して支援に活かしている
㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービスから所外福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供する等しているか	7		1	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない ・卒業でなくても、他の事業所に移る場合は、家庭の了承を取ったうえで、相談支援事業所を通じて事業所での様子や個別支援計画を引き継ぐことを行っている
㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		1	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の福祉系大学の先生をアドバイザーにお迎えし、支援が困難なケースについて助言を受けている
㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・学童と放デイが同じ階にあり、身支度や宿題以外の集団行動は基本的にいつも同じ部屋で過ごしている ・日常的な交流がある ・職員は定型発達の児童と利用児をつなげようとする視点をもって関わっている ・常に生活を共にしていることがきりんグループの特色である
㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参画しているか	4	3		<p>無記入…1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会への参画はしていないが研修やアンケートの協力は積極的に参加している ・障害児通所支援事業所連絡会への積極的な参加をしています

関係機関や保護者との連携	②⑧	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・迎えの時に居合わせた職員が、その日の様子を伝えるようにしているが、そうでない場合は電話や連絡帳で日々やり取りをしている ・いいことを伝えることは容易だが、課題や問題についての伝えについては難しさを感じている職員が多い
	②⑨	保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対してペアレントトレーニングの手法についての支援は行っていないが、支援の中では対応の一つとして取り入れている ・毎年一人はその研修に参加し全職員がそういった技術を身に付けて支援にあたっている
保護者への説明責任	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			<p>無記入…1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入会の契約時に家庭ごとに説明を行っている、その場で質問を聞き不明点を明らかにしている
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳及びメールや電話のやり取りから保護者の困り感や学校での様子などをお聴きする事がある、必要があれば個人面談をするように日程調整を行う
	③⑫	父母の会活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8			<p>保護者会は学童と合同で運営している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会への入会は任意だが全家庭が「子どものために」と参加してくれている、正規会員と準会員を選ぶ事ができる仕組みとなっていて、役員を担う事が困難な場合は準会員で登録できる ・放デイの家庭も参加が増えている、役員を担ってくれている家庭もある
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員を設置し、苦情の窓口を明らかにして支援室前にも掲示している、年度の始まりには毎年苦情の申し出から解決までの事業所の対応を伝えしている、書面でも渡している
	③⑭	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	6		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な会報はないが、行事や普段の生活の中でトピックスの写真を掲示して子どもの様子を伝えていると同時に職員も直接の伝えあいに務めている ・活動毎に内容がわかる写真掲示をしている、掲示の際は保護者にメールでお知らせをしている

保護者への説明責任	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱いには各職員が充分注意している ・個人記録はすぐに目につかないようにカバー付きのファイルにて取り扱っている ・利用者の個人ファイルは常に大人のいる子どもの入室しない事務室にて保管、戸棚の中に入っている ・家庭からの提出物はファスナー付きの袋にて保管
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションカードやスケジュールボードを用いて意思表示できる環境やツールを備えている ・スケジュールや生活の手順の情報伝達ができるように配慮している ・時には職員が子どもの代弁者となり保護者に伝える機会がある
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はバザーやクリスマス会が例年と違った形の開催となったが、出来る事を工夫して地域の方たちと交流を持つ事ができた(ハロウィンイベントの開催、クリスマス会の様子をプリントにして配布する事で事業所の活動を伝えた) ・今年度は叶わなかったが、例年、クリスマス会に招待している ・館内の他事業所を招待して音楽祭を行う時もある(今年度は中止)
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・火災、地震対応マニュアルは避難フローチャートとして備えており、職員に周知している事と子どもにはわかりやすくチャート図を支援室に貼ってある ・保護者向けには災害時にどのように子どもの安全を守るか年度の初めに「放デイきりんのお約束」を用いて説明をしている ・毎年四月、新年度の説明の時に保護者に説明している(年に一度は必ず) ・安全係として職員が活動し、マニュアルの作成と見直しを行い、子どもに向けてもわかりやすい掲示など心掛けている
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体の火災地震訓練は年に二回実施している ・事業所としては学童保育を合同で年四回程度訓練を行っている(発生場所、時間は様々想定している)(災害食の経験も) ・事業所内に防災係(安全係)を組織し、訓練の実施案作成等の活動がある ・防災係(安全係)が中心となって訓練を計画している、火災や地震等様々な想定で行い、避難方法も変えている ・安全係が中心となり、年に数回の火災訓練と地震の訓練を行っている、また、訓練後には子どもと大人が一緒にフィードバックを欠かさない

非常時等の対応	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	8			・県が主催している虐待防止の研修会に参加している、館全体に参加を呼びかけて伝達研修も開催した
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	2	・今年度は対象者がいない・必要がある児童がいた場合は家庭に説明をして個別支援計画にその旨を記載をしている
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	1	6	1	・保護者からアレルギーの有無について書面にて確認している・医師の指示書は提出してもらっていない・今年度は食物アレルギーの利用児がいない・現在、対象児なし ・医師の指示書に基づいたことはないがアレルギーの有無は必ず確認し書面にて提出してもらっているあ(保護者に内容確認)
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1		・日誌にヒヤリハット欄があり、事例があれば記入している ・日誌内の記述からヒヤリハット、ニコリホット、インクルーシブを抽出しマーカーで印をつけて支援の意識化を図っている ・事例集としてまとめたものはまだできていない・ヒヤリハットと共にニコリホット、インクルーシブな関りも取り上げている ・安全係が中心となり、過去の日誌にアンダーラインを引きヒヤリハット、ニコリホット、インクルーシブな関りを色分けして目で見て分かるようにしている

社会福祉法人横須賀基督教社会館
放課後等デイサービス・きりんグループ

<用語説明>

PDCAサイクル	P(プラン)、D(実施)、C(チェック、評価)、A(改善)の繰り返しで事業を進めていく事
自己評価、保護者評価の公開	社会館のホームページにて公開されています、ご覧ください